

MEANING & COMMENTARY OF LOGOMARK

ロゴマークの意味と解説



CONCEPT

かこさとしさんの絵と詩から「祭り」の印象を得ました。祭りは全ての国に存在し、肉体的そして精神的な喜びや感謝の意味を含み、老若男女全ての人に参加出来ます。

この新しい施設も、祭りのように全ての人に愛される場所になるように願いを込め、祭り与人々を感じさせるマークと、老若男女、外国人の方も簡単に覚えられるような愛称を考えました。

SYMBOL MARK



お祭りの際に出来る人々の「輪」がこのマークには沢山入っています。菊の花を持った人々が、まるでお祭りの様に集まり、体をくねらせて踊るように楽しんでいる様子をマークにしました。

LOGO TYPE

park + party → **PARKY**
パーク パーティー パーキー

PERKY — [**PARK** / **PARTY**]
パーキー パーク パーティー

パーキーはもともと PARK+PARTY を合体させ「PARKY」という造語として制作しましたが、「PARKY」には「冷たい」という意味があり、同じような響きで「生き生きとした」「陽気な」「エネルギッシュな」という意味のある「PERKY」にしました。ロゴに落とし込む際に、「PARK」と「PARTY」の中に入り込むように「E」の中に「A」、「K」の中に「T」を隠したロゴになっています。

LOGO DESIGNER

牧野 惇 Atsushi Makino

武生市(現 越前市)出身。1982年生まれ。2006年よりチェコの美術大学 UMPRUM の TV & Film Graphic 学科にてドローイングアニメーション、パペットアニメーションを学んだのち、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーションコース修了。実写・アートワーク・アニメーションの領域を自在に跨ぎ、映像ディレクション、アートディレクションから、アニメーションディレクション、キャラクターデザイン、イラストレーションまで総合的に手掛け、東京2020パラリンピック開会式の映像ディレクター、第72回NHK紅白歌合戦オープニングムービー演出などを務める。